

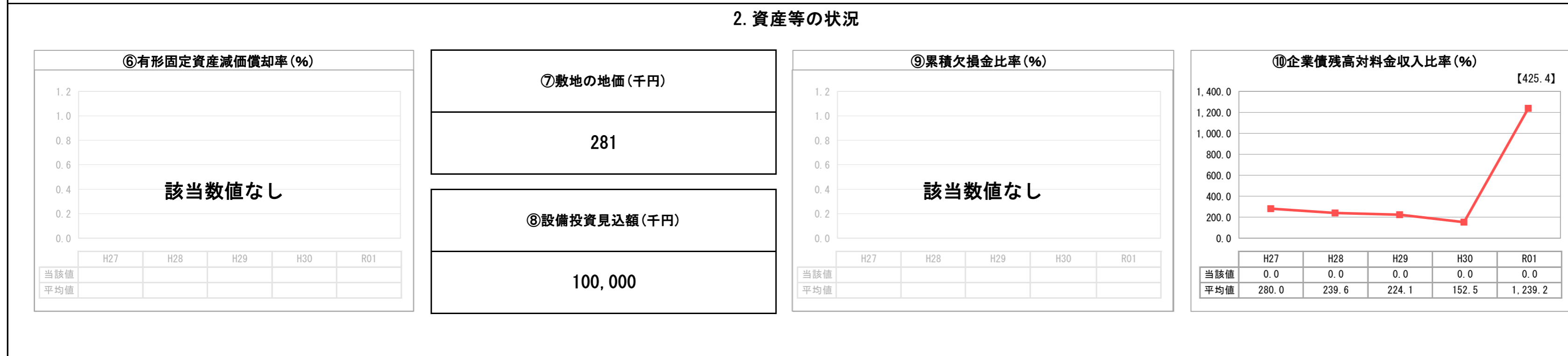
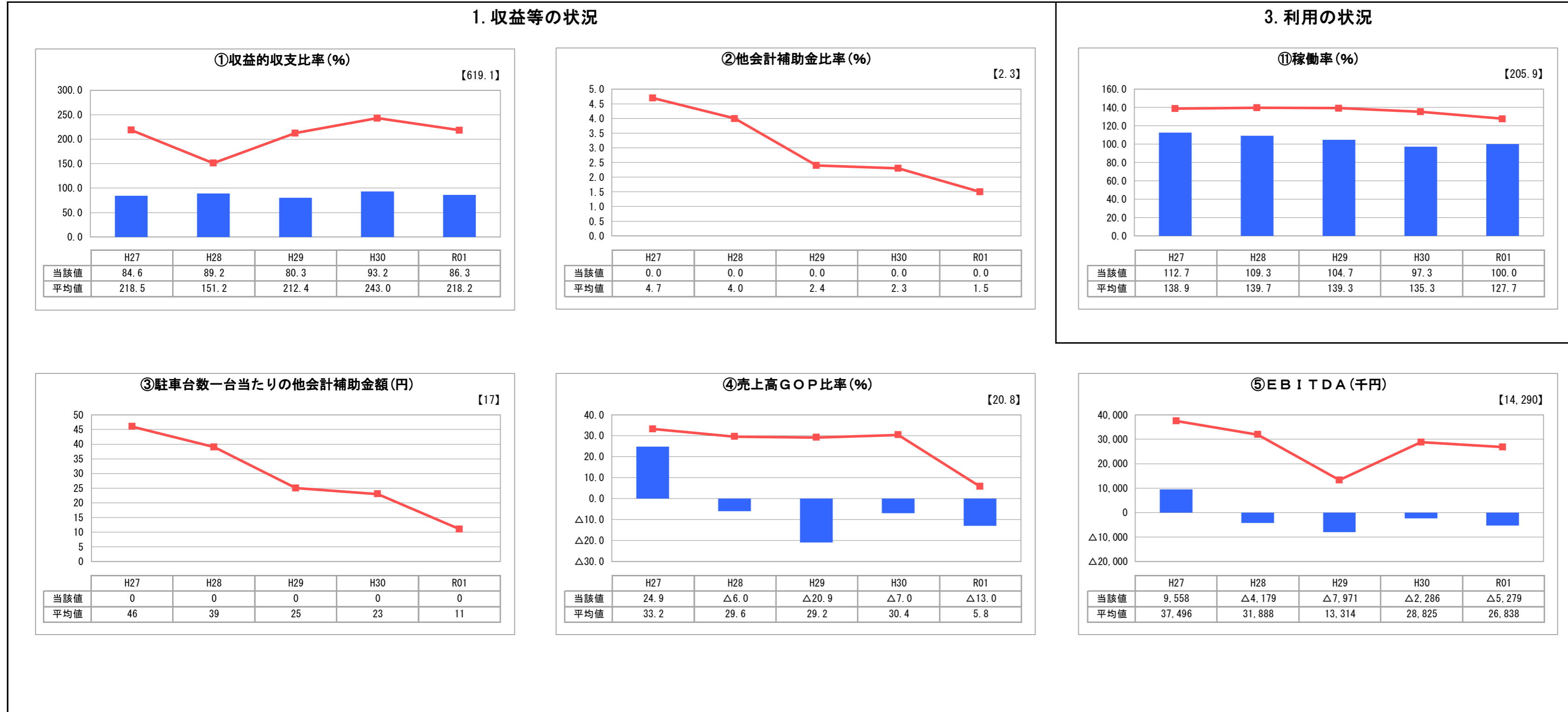
経営比較分析表（令和元年度決算）

大阪府高槻市 高槻市営高槻駅南立体駐車場

業務名 法非適用	業種名 駐車場整備事業	事業名 -	類似施設区分 A1B1	管理者の情報 非設置
自己資本構成比率(%) 該当数値なし	種類 附置義務駐車施設 その他駐車場	構造 立体式	建設後の経過年数(年) 24	

立地 駅	周辺駐車場の需給実態調査 無	駐車場使用面積(m ²) 2,250
収容台数(台) 150	一時間当たりの基本料金(円) 300	指定管理者制度の導入 代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について
 当該施設は、歳入の約半分が特定の商業施設への回数券販売に依存している。また、京都市や大阪市などの大型商業施設のパークアンドライド駐車場としてもPRするなど歳入の確保に努めてきたが、依然として収益的収支比率が100%を下回っており、赤字経営となっている。

2. 資産等の状況について
 当該施設は平成26年度に企業債を完済したが、機械装置は法定耐用年数の10年を超過しており、従前は保守点検に基づきその都度修繕を行ってきた。修繕コストの平準化を目的に平成28年度より機械装置の長期修繕計画を策定したところ、今後は毎年少なくとも約1,000万円の修繕コストが必要と判断している。このほかに、二酸化炭素消火設備の更新期限が迫っていることから、令和2年度には当該設備の更新業務も行う予定である。

3. 利用の状況について
 当該施設は、稼働率が類似施設平均値を下回っていることから、他施設に比べて駐車需要が低いと考えられる。また、近隣にいくつかの商業施設が立地していることから、利用の大部分は一時利用が占めている。

全体総括

当該施設の現在の経営状況としては、利用台数が減少傾向であることに加え、今後は設備の維持補修に伴う修繕コストの増加が懸念される。今後の経営改善策として、機械装置の老朽化による修繕コストを平準化するための長期修繕計画を策定したが、今後も赤字経営が見込まれ、本市の他の市営駐車場3施設と比べても厳しい経営状況である。そこで、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定に取り組む中で、周辺の駐車需要を分析し、統合を含めた施設のあり方を検討していく。